

令和 5 年度漁期ニシン漁期後調査 速報 (2: 厚田地区)

令和 6 年 4 月 5 日に石狩湾漁協厚田石狩地区において、青年部の皆さんによって漁期後調査が行われました。採集されたニシンを持ち帰り、生物測定を行いましたので、その結果を報告します。この調査は、**漁期後のニシンの来遊状況を調査**する目的があり、また、5 種類の目合 (1.8 寸、2.0 寸、2.1 寸、2.2 寸、2.3 寸) の刺し網を用いてニシンが採集されるため、**漁獲物標本では得られない小型・若齢ニシンの来遊を確認**できる貴重な調査となっています。

※ 年齢および脊椎骨数の結果については標本処理、分析に時間を要するため、これらについては漁協青年部の方々には改めて結果をお送りします。

【調査結果】

1. ニシンの採集状況

調査漁具は、4 月 4 日に厚田港よりも北側の石狩湾新港近郊の水深 7~10 m の海域に敷設され、5 日早朝に回収されました。漁獲されたニシンの概要については表 1 のとおりです。

表 1 ニシンの採集状況 (石狩地区)

	目合						合計
	1.6 寸	1.8 寸	2.0 寸	2.1 寸	2.2 寸	2.3 寸	
1 反当たり漁獲重量 (kg)		25.1	23.7	21.4	21.6	11.7	103.4
測定重量 (kg)	未	10.3	11.2	12.4	14.9	15.3	64.0
測定尾数	実	56	50	50	55	47	258
平均尾叉長 (mm)	施	257	268	277	283	299	276
平均重量 (g)		184	224	249	270	325	248

2. 生物測定結果

採集されたニシンの年齢と尾叉長

すべての目合 (1 反当たり) で採集されたニシンを合計した尾叉長組成の範囲は、23~32 cm の範囲にあり、25 cm 階級にピークがありました (図 1)。昨年と比べると、尾叉長の範囲は同等でしたが、ピークの位置は昨年は 30 cm 階級にありましたが、今年は 25 cm 階級であり、今年は昨年よりも比較的小型魚が多かったといえます。

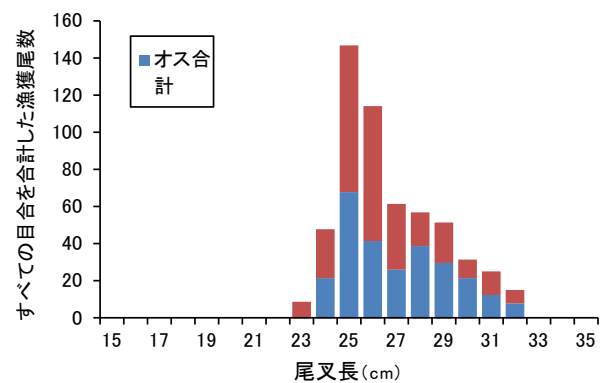


図 1 目合を込みにした雌雄別尾叉長組成
各目合、1 反当たりに換算してから合算

目合ごとにみると、1.8寸と2.0寸ではともに25 cmにピークがありましたが、比較すると2.0寸では24 cm台が少なく、27 cm以上の個体が増加していました。2.1寸になると26 cm階級に主峰が、そして29 cm階級に小さいピークみられるようになりました。2.2寸になると主峰が28 cm階級に移り、31 cm階級にも小さいピークがみられました。そして、2.3寸では29 cmにピークをもつ単峰型の組成となり、尾叉長27 cm未満の漁獲がかなり少なくなりました。

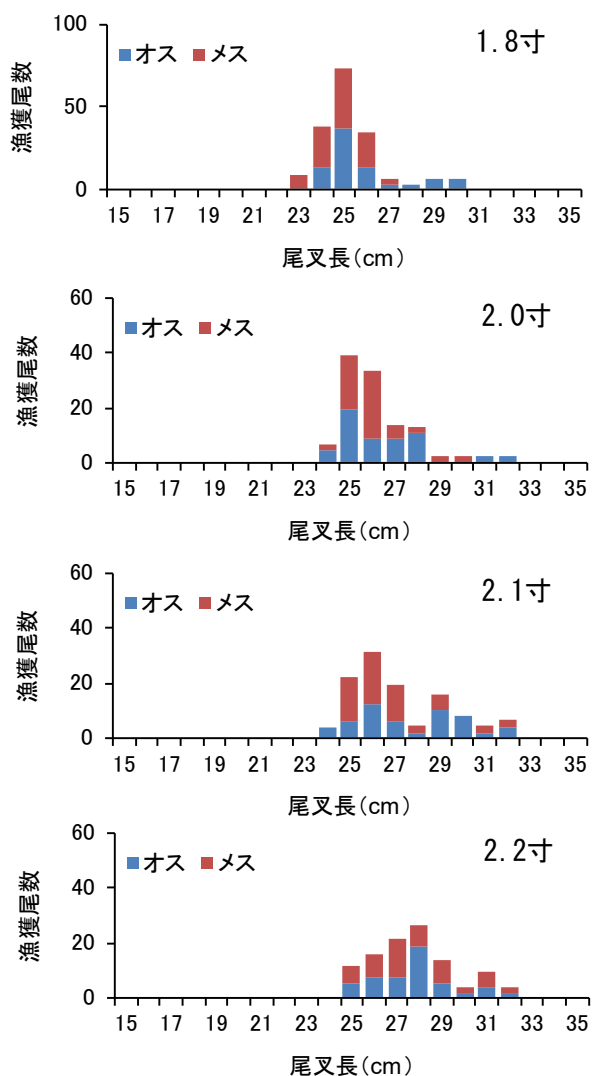


図2 目合ごとの年齢別尾叉長組成
各目合、1反当たり換算した組成

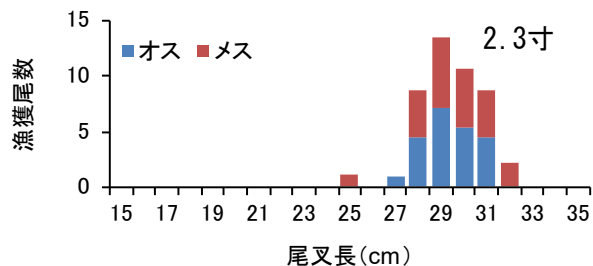


図2 つづき

生殖巣の成熟状態について

生物測定を行った標本のうち、オスでは、57尾(44%)がこれから産卵に参加しそうな成熟状態にあり(放精前)、73尾(55%)は精巣が若干収縮しており産卵参加中の状態(放精中)、1尾(1%)が放精を終えた状態でした。

メスでは、118尾(93%)の卵巣が完熟状態で、1尾(1%)では産卵を終えた状態、さらに8尾(6%)ではまだ卵巣が透明な黄色になっておらず、産卵までまだ時間がある状態でした。このように、4月に入ってもまだ産卵前のニシンが多く来遊していたことがわかりました。

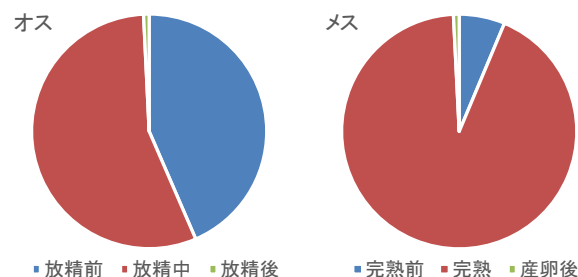


図3 標本の生殖巣の成熟状態